

第2回研究会における構成員からの主な意見

平成29年4月26日
総務省 総合通信基盤局
電気通信事業部 料金サービス課

(NGNのオープン化)

- NGNの位置付けは、電話網移行円滑化委員会等で整理された議論があつて、非常にもっともであり、それを踏まえてこの会議が開かれていると思う。ボトルネックがあればやはり競争阻害要因になるので、それは公平な競争ルールを考えましょうということだと思う。NGNのどのようなところにボトルネック性があるかは、これから議論していけばいいことだと思う。【佐藤構成員】
- 今のマイグレが議論されているタイミングでNGNのオープン化が議論されることは大変意味がある。NTT東西は、NGNは一種指定設備ではないと主張しているが、メタルと光ファイバにつながっているユーザーがNGNの先にはおり、交渉力の格差において対等の関係ではないと思うので、引き続き一種指定設備である必要はある。【池田構成員】
- NGN接続料に予見可能性がないとのKDDIの指摘はかなりクリティカル。この予見可能性がない状況は何としても解消しなければならず、必要なものだけ借りられるような制度に今のタイミングでしていくという方向性で議論されるのは意味がある。【池田構成員】

(帯域換算係数)

- KDDI資料(資料2-3)P. 33にあるとおり、トラフィックに比例する部分やパケット数に比例する部分は、それはこういうコスト負担、あるいは、パケット数に比例しないルータのポートのような部分については、トラフィックが10倍になればコストを10倍にするわけではなく、例えば2、3倍で済むようにするなど、そのような形でコストを補正することそのものは、決して間違っていないのでは。帯域換算係数を見直すとか廃止するというのは結果の話であつて、まずはそれぞれの設備が実際どうなっているのかを検証し、それから適切なルールを作る方がいいのではないか。【酒井構成員】
- 帯域換算係数がそもそも存在が良いか悪いかではなく、今、帯域換算係数を使っていることで競争上の問題が起こっていると認識している。【佐藤構成員】

(帯域換算係数(つづき))

- 帯域換算係数の考え方は、今までの接続料の算定では採用されていなかったのではないかと。NGNで採用された特別な考え方であるため、改めて議論せざるを得ない。【佐藤構成員】
- 元々帯域換算係数を導入したとき、NTT東西は、将来の光のトラヒック増を念頭に、料金を比例で増やしてはまずいということと考えたものだが、結果として、スタートアップの非常に小さなトラヒックが高くなってしまったり、機能ごとのシェアの違いで結果的に安く使える事業者と高くなる事業者が出るようになるなど、想定していたものと現実のものが違っているというのが問題の本質。【相田座長代理】
- 帯域換算係数を導入する際、時間がないということで、帯域と値段の関係についてポート単価を用いてしまったが、実際は帯域と値段の関係は装置ごとに異なる。ルータや伝送装置の按分を行うのであるから、ルータ本体の処理可能帯域や伝送装置の帯域と値段の関係を用いるなどの合理的な根拠があれば、必ずしも帯域換算係数そのものがダメということではないが、ポート単価をルータや伝送装置の按分に用いるのは合理性がない。【相田座長代理】
- 優先パケットルーティング伝送機能など、今まさに開放してこれから使ってもらおうというものについて過度な傾斜がかかっている、結果として不具合が出ているのは確か。大容量があるから小容量についても恩恵をこうむるのも確かにあるが、新しい機能を使ってもらうために浸透価格ということを考えていくというのも1つの考え方としてはある。【池田構成員】
- 帯域換算係数についてはもう既にさまざまな課題は大分出ていると思うので、その点については同意。【関口構成員】

(網終端装置の増設基準)

- ISPのサービスなどを使っている他事業者のサービス品質の改善が遅くなればなるほど、ライバルの競争力を削ぐことが可能になるので、このまま放置、これから話し合いしていきます、のような感じのペースではちょっと問題があり、早急に対応する必要がある。【池田構成員】
- 投資にはやはりコストがかかって回収が必要なので、トラフィック基準で増設するのであれば、増設のルールとコスト負担のルールをあわせて議論していかなければならない。【佐藤構成員】
- 事業者それぞれの利害ではなく、ユーザーに対する日本のインターネット環境をどのような水準で提供していくかということになるので、ぜひ前向きに、会議に出て話をする以上に、具体的に解決できるように対応していただきたい。【佐藤構成員】
- NTT東西は、ISPを大事なパートナーとして認識しているのであれば、もうちょっと丁寧な対応をするべき。【池田構成員】

(GWルータの接続用ポートの小容量化)

- 使いやすい単位で借りられるようにしてほしいという要望については、利用の促進という観点から、対応が可能であれば、対応して欲しい。【池田構成員】

(POIの増設)

- 県単位か地域ブロック単位かということはあるが、可能な限り対応してほしい。【池田構成員】